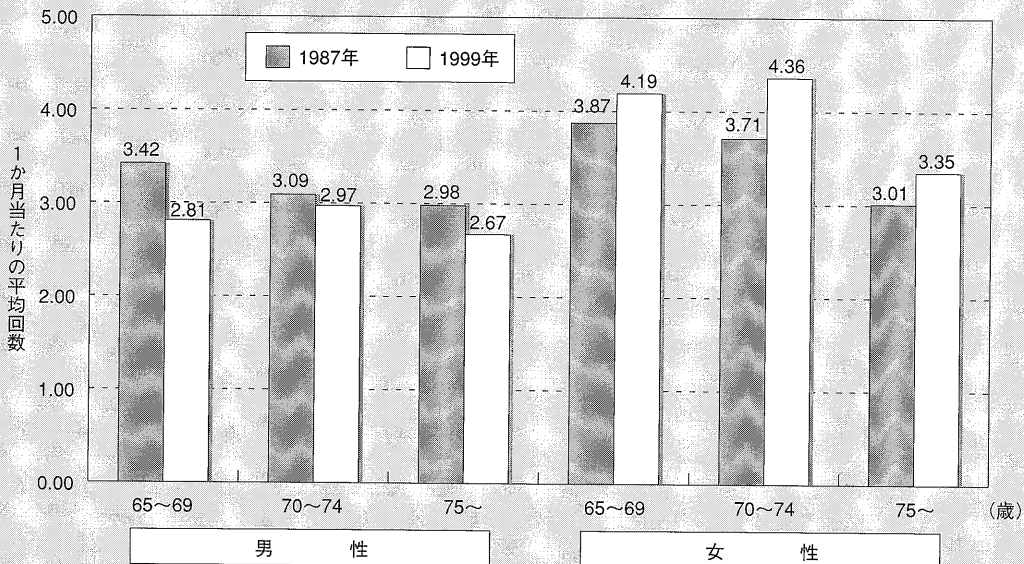


＜都市部、被用者、男性で目立つ高齢者の近所付き合いの希薄さ＞

- 高齢者が友人、近所の人や親戚と会ったり出掛けたりする頻度をみると、女性の方が他人との付き合いが活発であり、かつ、男女の差は拡大してきている（図表1-1-22）。また、お茶や食事を一緒にしたり、相談をしたりといった比較的深い付き合いは都市部ほど少なくなっており、さらに、自営・家族従業者の近所付き合いの程度は比較的密接である一方、被用者の場合は、全般的に無職の者よりも近所付き合いの程度が希薄である。

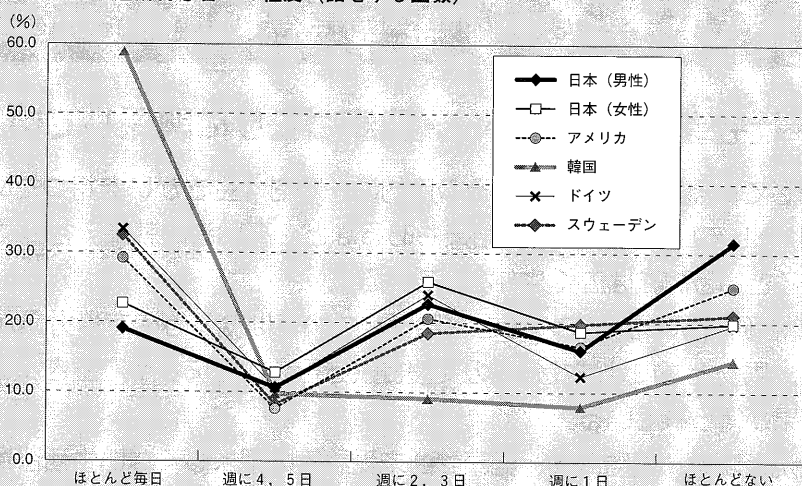
図表1-1-22 友人・近所の人・親戚と会ったり出掛けたりする回数



資料：（財）東京都老人総合研究所「長寿社会における暮らし方の調査」（2001年）

- なお、諸外国と比較すると、我が国では、友人や近所の人と話をする機会がほとんど毎日ある者の割合が低く、かつ、ほとんどない者の割合が高い（図表1-1-25）。特に、男性についてこの傾向が顕著であり、近所の人とほとんど話をしない者の割合が3割を超えているのは我が国の男性のみとなっている。

図表1-1-25 近所付き合いの程度（話をする回数）



資料：内閣府「第5回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」（2001年）